

## 民間提案募集（1次募集）の選考結果について

2018年10月12日（金）に選考会を以下のメンバーにて実施した。

委員	所属および役職等
出口 敦	東京大学 総長特任補佐 キャンパス計画室長 教授
平野 浩之	東京大学 副理事 財務部長
野口 健	東京大学 施設部長
上野 武	千葉大学 工学研究院 教授
藤代 真史	千葉市 総合政策部長
松本 真吾	千葉市 都市部長
宮尾 孝	千葉市 稲毛区長

選考の結果、応募のあった10社のうち、以下の5社を対話事業者として選定した。各社の提案（概要版）は別紙1のとおり。

- ① 大和ハウスグループ
- ② パナソニックホームズ(株)
- ③ 野村不動産(株)
- ④ イオンタウン(株)
- ⑤ (株)ZOZO(旧スタートトゥデイ)

以上

## (参考)選考の手順

- 各提案内容の特徴等を事務局より説明
- 選考会メンバー(以下「審査員」)が各社の提案内容を審査
  - 「評価シート」の評価欄にS・A・B・C・×を記入
    - S:特に優れて提案である。
    - A:優れている。
    - B:ふつう
    - C:劣っている
    - ×:論外 or 選外
  - ◎印(必須記載項目)の提案が無い場合は失格。
  - ◎印(必須記載項目)について、一人でも審査員が「×」をつけた場合選外とするが、「選外」の是非について協議。
  - ◎印(必須記載項目)について、「S」をつけた審査員は、その理由等を説明。
- 審査員の評点をもとに各社を相対評価できる一覧表を事務局で作成し(集計し)、審査員全員で共有
- 評点の高い事業者を優先して対話事業者を選定(上位3~5社が原則)
  - ⇒ 選定する事業者数について協議(6社以上とする場合、その理由も協議)。
  - ⇒ 評点が低いなど、選外とする事業者について協議(その理由も協議)。